



南魚沼市総合防災訓練に参加しました！

～約 130名の方が土石流体感（3D）装置を体験しました～



土石流体感3Dシアター



装置の待ち時間を利用し、模型を用いて砂防事業に関する説明を行いました。



恐怖の土石流体感中 ヘリによる救助訓練も実施

7月6日（日）、南魚沼市大崎小学校で南魚沼市総合防災訓練が行われました。湯沢砂防事務所からは「土石流体感3D装置」を出展し、参加の皆様に土石流の怖さを体験していただきました。

当日は、晴天に恵まれ、約130名の児童や地域の方々が、飛び出る3D映像と揺れる椅子で土石流を体感しました。また、当日は、井口災害対策本部長（南魚沼市長）にもご体感いただき「なかなかリアルで驚きました。子供達といっしょに貴重な体験ができました。」とのコメントを頂きました。

次回は、8月24日（日）長野県栄村の秋山小学校に「土石流体感3D装置」を出展する予定です。皆様のお越しをお待ちしております。

7月に入り、大雨が降りやすい時期となってきました。

土砂災害は、一度発生すると、家や田畑や道路を一瞬のうちに破壊することもあり、大変恐ろしい災害です。

土砂災害発生の危険度が高まった時は、市町村長から避難勧告等の発令や、住民の自主避難の呼び掛けが行われます。大雨や長雨の時は、防災情報や周囲の状況に注意し、早めの避難を心がけましょう。避難所に行くことが難しい状況では、山、溪流から離れた部屋や住宅の2階など、比較的安全と思われる場所に避難することも検討してください。